



社会医療法人 三宝会

南港病院

下肢静脈瘤 センター

完全予約制

日帰り / 1泊2日入院



足がだるい、むくむ、静脈が浮き出て気になる...

そんなお悩みをお持ちではありませんか？

もしかしたら、下肢静脈瘤かもしれません。南港病院では、この度、下肢静脈瘤の専門医が加わり、治療を開始いたしました。



専門医が、あなたの足の悩みに寄り添います。



日帰り手術から入院まで、ご希望に合わせた治療をご提案。



美しく健康な足へ、一步を踏み出しましょう。



【こんな症状があれば、ぜひ相談を】

- 夕方になると足がよくむくむ
- こむら返りがよく起きるようになった
- 就寝中に足がよくつる
- 足がだるくて重く感じるようになった
- 足の血管がポコポコしてきた
- 足首の皮膚が黒ずんできた
- 足に湿疹や、かゆみがある
- 細い血管が浮き出てきた

南港病院では、下肢静脈瘤に特化した専門的な治療を行っています。

治療を受ける上で大切なのは、患者さまご自身の「治したい」という気持ちと、私たち医療スタッフとの二人三脚です。私たちはその思いにしっかり寄り添い、医師・看護師・技師などチーム全員でサポートいたします。普段の診察から、どんなことでも気軽に相談していただける雰囲気づくりを心がけています。

毎週金曜 / 午前診察

豊富な実績

下肢静脈瘤手術

10,000件以上の実績

豊富な実績

国内・海外学術発表

200件超



脈管専門医 / 下肢静脈瘤実施医
小澤 達也 Dr.

むくみの方もご相談ください。日常的不調の中に、下肢静脈瘤が隠れていることがあります。気になる症状があれば、まずはお気軽にご相談いただければと思います。



専門・血管外科 / 下肢静脈瘤指導医
今井 崇裕 Dr.

社会医療法人三宝会 南港病院

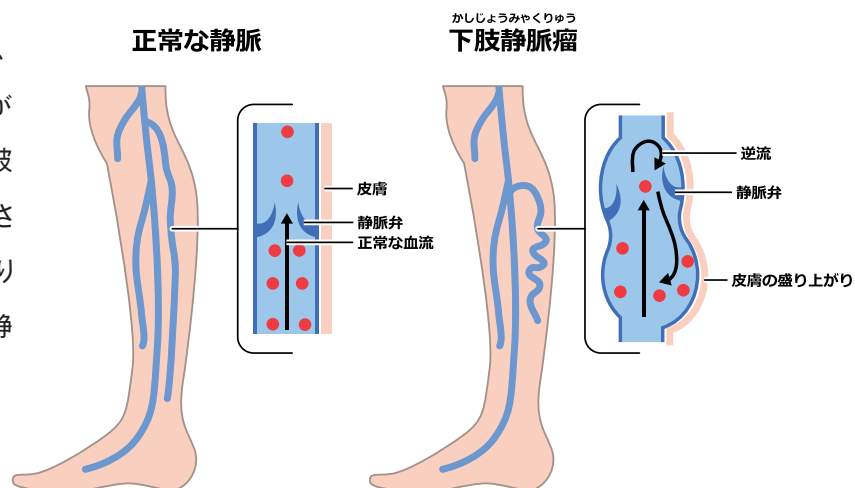
【お問い合わせ】南港病院よろず連携室

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋 2-11-15

06-4702-8009

下肢静脈瘤とは

下肢静脈瘤とは血液の帰り道である静脈が、内部の血液が下肢に溜まることにより膨れ上がり、表面に浮き出てきた状態です。静脈弁の破壊により血液の逆流が発生し静脈瘤が形成される1次性静脈瘤と、血管内の血栓などにより、血液の帰り道が防がれて発生する二次性静脈瘤に分けられます。



治療法の違いについて

手術

血管内焼灼術

原因血管を加熱して、逆流を塞いでしまう治療です。2011年から保険適応になりました。当院では最新式のレーザー、ラジオ波を使用しています。



手術

血管内塞栓術

原因血管を薬剤で固めて逆流を防ぎます。2019年から保険適応になった最新の治療法です。血管をノリで固めるイメージから、グルー治療と言われています。



硬化療法

ポリドカスクレロールという薬剤を毛細血管へ注入して細かな下肢静脈瘤を目立たなくする治療方法です。C1クモの巣状静脈瘤や網目状静脈瘤が治療の適応となります。

圧迫治療

弾性ストッキングや包帯を使用して、静脈還流の改善を促します。個々に適した強さで下肢を圧迫する必要があり、当院では専門の看護師がアドバイスをしています。

検査について

エコー（超音波）検査

エコー（超音波）検査は痛みを伴わず、安全かつ簡便で静脈瘤治療に必須の検査です。治療前後に関わる弁不全による逆流、血栓の有無、血管の位置関係などが確認できます。検査時間は、約30分（初診時）、約10分（治療後）です。

MRI検査

MRI検査はコイルと呼ばれる専用の用具を体に装着し、ベッドに寝た姿勢でトンネル状の装置の中に入って撮影します。強力な磁石や電波を使うため、金属によるやけどに注意が必要です。手術前に一度、血管の走行を細かく調べます。検査時間は約40分です。

※状況により、CT・レントゲン・血液検査・心電図等の検査を実施する場合がございます。